

ツナ缶ランプの作り方

停電時の明かりとなるツナ缶ランプの作り方をご紹介します。
ツナ缶は災害時の備蓄におすすめの食品です。明かりとして使った後は美味しく食べられます。

(△注意)

※こちらは緊急時の簡易ランプです。不安定な置き方、風の強い場所等では行わないでください。周りに燃えやすいものがないか確認し、火の取扱いには十分ご注意ください。

ツナ缶ランプの材料と道具

○材料

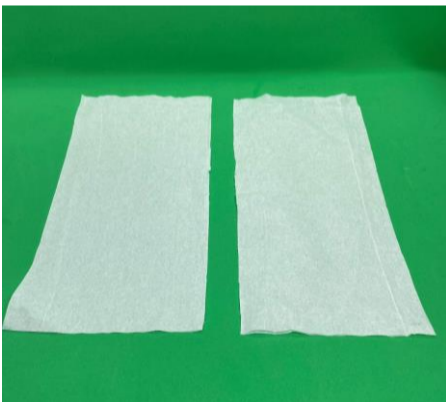
- ・ツナ缶（油漬け） ※水煮缶ではできません
- ・ティッシュ：1枚 ※綿ヒモやコーヒーフィルタでも可
- ・缶切り
- ・ライターやマッチ



ツナ缶ランプ作成の手順とポイント

①ランプの芯を作るため、ティッシュを半分に裂く

ティッシュペーパーを半分に裂いて、そのうち1枚をこよりにします。（残り半分は使いません）



②ティッシュをこより状にしていく

ティッシュを細く畳み、ねじってこよりを作るようにヒモ状にします。



③ツナ缶の高さの2.5倍に長さにします

ヒモ状になったら、ツナ缶の高さの2.5倍程度の長さにします。ハサミで切ってOKです。



④缶に穴を開ける

芯が通る程度の穴を開けます。



※缶切りで穴を開けるかわりにイージーオープン缶のタブを引き上げそこから芯を差し込むこともできます。

⑤芯をランプに通す

芯が1cm程度出るところまで押し込んでください。つまようじや竹串を使うと簡単です。数分で芯の先端まで油が染み込めばOKです。



⑥ツナ缶ランプに火をつける

ライターやマッチで火をつけます。



火が消えた後はそのまま食べることができます

火が消えた後のツナ缶は、そのまま食べることができます。燻製風味になっていますが焦げ臭い感じもなく、おいしく頂けます。

